



本当に欲しい情報を手に入れるために

- 地域情報化の技術研究



地域指向サーチエンジン

IX(Internet eXchange) が首都圏に集中する日本では、首都圏中心の情報発信が行われてきています。各地域からの情報発信が不利なこの状況を打開するために、地域のアクセス網の相互接続とコンテンツ流通の仕組みの実現～地域コンテンツハブの実現を我々は提案してきました。

コンテンツ流通の仕組みの一つとして、本プロジェクトでは、コンテンツに地域属性の情報をメタデータとして記述する手法を提案します。記述した地域属性情報の利用方法として、検索エンジンでの利用をモデルとしてあげました。また、対象となる地域として、愛知県知多半島区域に焦点をあて、地域情報発信のためのコンテンツを作成しました。地域コンテンツハブ実現の第一弾として、この地域情報統合環境が知多コンテンツハブ実現の大きな一歩になることを期待しています。

企画制作

有限会社 リフレクション (監修 鈴木常彦 伊藤剛志 百濟政二) <http://www.reflection.co.jp/>
 日本福祉大学知多半島総合研究所

制作協力

株式会社スナップショット <http://www.snapshot.co.jp/>
 中京大学人工知能高等研究所

知多半島地域コンテンツ

本プロジェクトでは知多半島の地域情報を題材にし、実験対象としています。知多半島の海に囲まれた美しい自然や文化、地域産業の紹介をWebページとしてまとめ、公開しています。

コンテンツには地域属性情報を記述して、地域情報統合環境の地域指向検索エンジンの対象となっています。統合環境を用いて、ぜひ知多半島の自然と文化を紹介し、そして知ってください。



地域情報統合環境



メタ情報付与ツール(Web, Windows)



地域情報の付与

地域情報統合環境の実現として、(有)リフレクションの負荷分散サービスであるウェブリフレクションを用いています。WebとMS-Windows用に作られたメタ情報付与ツールを用いて、自身で作成したコンテンツに地域情報を記述します。コンテンツはウェブリフレクションを経由して地域指向検索エンジンの検索対象となります。

コンテンツはウェブリフレクションのリバースキャッシュ機能により、サーバの負荷分散の役割も果たします。この統合環境を各地域で利用することで、地域コンテンツハブの実現を目標としています。

地域指向検索エンジン

ウェブリフレクション
(負荷分散)

コンテンツ

地域コンテンツハブの実現にむけて

地域コンテンツハブの実現には、各地域でのコンテンツ流通の仕組みの一つの実現方法として、本プロジェクトで提案した統合環境を各地域で利用し相互接続することがあげられます。地域情報の流通と負荷分散による地域の情報発信サービスの実現に興味がありましたら、ぜひご協力お願いいたします。

問い合わせ先

有限会社リフレクション

名古屋市千種区今池5-1-5 今池ビル8F 〒464-0850

TEL 052-744-5280 FAX 052-744-5285

E-mail: info@reflection.co.jp

担当: 鈴木、伊藤

http://www.reflection.co.jp/